

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 10. 5

担当：学びの場クリエイター 西村



9月29日（水）

南郷小学校4年生「らっきょうの植えつけ」

らっきょう栽培が盛んな町内の万行地区。4年生は、この地区の人々の想いと歴史も学びながら、「人権学習」としてらっきょう栽培を体験します。先生は、松田真紀さん。

・酢漬けたらっきょうはどうでしたか？

「すごいおいしかった！」

「お父さんもいっぱい食べてくれた」

「またあんな風にできるように、がんばりたい」（実感があると、やる気が出ますね）

・畑に入って植えつけの体験

「砂がふかふかして気持ちいい」

（土の中の虫に）「こんなところにいたらあぶないよ。／また会おう！」

「らっきょうくん、今日から君は畑で過ごすことになるよ」

（肥料まき）「どうすればちょうどよい量になるかなあ（傾き、歩くスピードの工夫）」

（「あごをきる（畝を作る）」道具に）

「コレかっこいい！」

「思ったより重い」

「（実際にやってみると）難しいな…」

「責任重大や」

「砂がどんどんこぼれていく」

・「あごをきる」作業も、肥料まきも、何でも「やってみたい！」と積極的に取り組むみんな。植つけでは、らっきょうの間隔を確認しながら、1つづ1つづ丁寧に並べていました。最初に松田さんが言われた言葉「1つ1つが大事だから」を、しっかり実感・実践できていましたね！





収穫時に残しておいて、冷蔵庫で保管していたもの



どんな風に植えつけるか、まずは見て確認



つぎに体験



1つ1つ、らっきょうが倒れないように丁寧に



この道具、かっこいい！



まっすぐ引いていくのが、とても難しい…



少し早歩きで進むぐらいが、ちょうどいい！



らっきょうの花(11月中旬頃)も見られるといいですね！